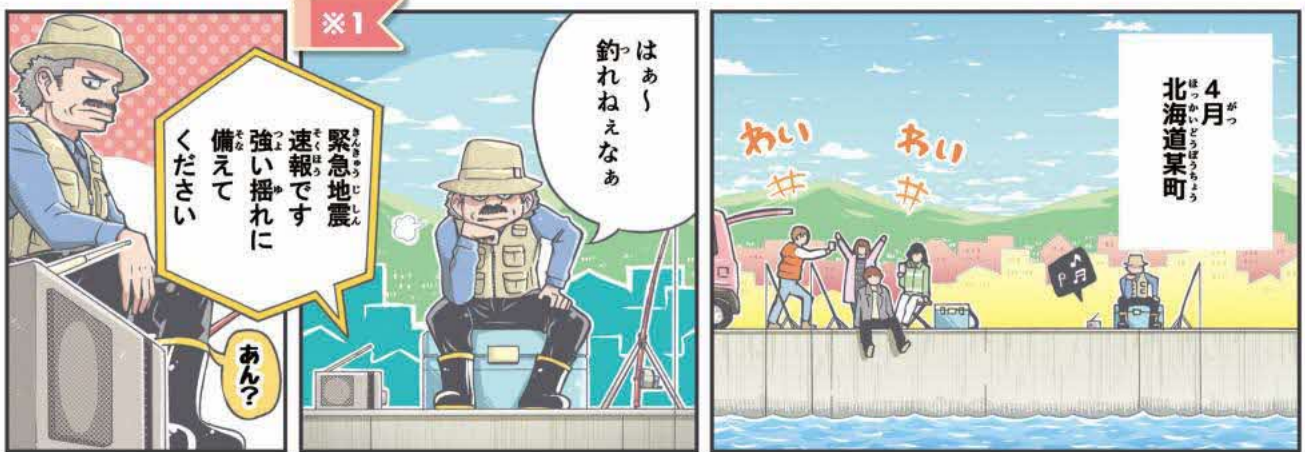


地震・津波

まさかは必ずやってくる!

が起きたときには



※1

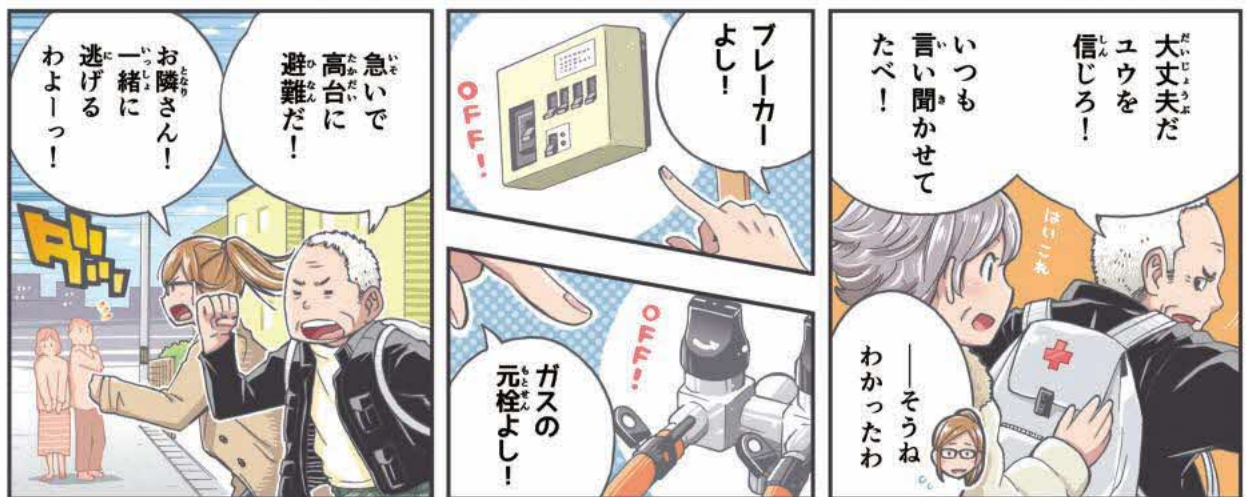
震源が近い場合、緊急地震速報が揺れと同時に、揺れた後に発表されることもあります。



※2



※3



※2

震源が近いときは、津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。津波の危険がある場所にいるときは、揺れがおさまったら、津波警報・注意報を待たずに急いで安全な場所へ避難を始めましょう。

※3

内陸の町など、海や川から十分に遠く、家が無事で、地域に火災の危険がなければあわてて避難する必要はありません。火の手や煙が見えないかなど、周囲の様子をよく確認しましょう。

※4

家族一人ひとりの安全確認を待たずに、まずは、それぞれ安全な場所へ避難することを、日ごろから家族で話し合い、約束しておきましょう。



いいか
ユウ



怖いから
一回家に……
どうしよう……



ひええ〜

たぶ
倒れやすいものから
はな
離れてうすぐまる!



僕も高台に
行こう!

みんなも
逃げてるって
信じる!



クッ

……よし



もしもの時は
高台に集合!
それが我が家の
ルール
だからな!

地震のあとには
津波が来るかも
しれないから
逃げるんだぞ!
一人でもだ!

※4



揺れが
おさまるまで
じっとして
いるんだ!

つぐ
机の脚は
対角線で支える!

ぜ……全員
机の下に
隠れろっ!



うん
ありがとう!

一緒に
逃げよ!
手つないで



みんな
急げーっ!



とりあえず
おさまったな……
津波が来るから
避難場所の
高台まで
すぐに避難だ!



※6



※5 津波は河口から河川をさかのぼり、堤防からあふれて、海から離れた地域も浸水することがあります。海から離れているからといって油断せず、河川から離れ、より高いところなど安全な場所へ避難してください。

※6 津波は何度も繰り返し襲ってきます。第一波が最大とは限らず、第二波以降に大きな津波が来る可能性もあります。第一波の津波が低かったからと安心して、家まで荷物を取りに戻ったりしてはいけません。

津波からいのちを守るために（事前の備え）

住んでいる地域のハザードマップ（防災マップ）を見て、「自宅から避難場所へのルート」「職場や学校から避難場所へのルート」「生活圏にある津波避難場所、津波避難ピルの場所」を確認しておきましょう。

作画：ヤマモトマナブ
北海道旭川市出身のまんか家だよ!

